

第6回定期総会報告

湘南日独協会の第6回定期総会が1月22日の例会の後にホテル法華クラブ・ロータスホールで行われました。西澤理事の司会のもとに岩崎会長の挨拶、吉田理事の経過報告と会計報告、赤羽根監事の簡素報告、新年度役員の紹介があり、新年度の活動と予算も併せて承認されました。

新年度の役員は次ぎのとおりです。

湘南日独協会 2005 年度 役員

名誉会長 岩崎英二郎
会 長 織田正雄
副会長 宮下啓三

理 事 伊藤志津子
" 大沢由美子
" 塚越敏夫
" 遠山信彦
" 長峰 誠
" 西沢英男
" 能登 崇
" 古橋昭子
" 松野義明
" 水谷妙子
" 三谷善朗
" 吉田克彦

監 事 赤羽根恵吉
顧 問 佐藤美智子
" 渡利晴夫
名誉会員 高嶋泰二
" 鎌田哲男

湘南日独協会 2005 年度活動予定

■ 4 月 23 日(土) 会員懇話会

卓話 日本陸軍とお雇いドイツ人

講師 廣川貴男氏

会場 ホテル法華クラブ藤沢 ローズルーム

■ 5 月 28 日(土) 第 39 回例会

講演会 「グリム童話とアンデルセン童話」

講師 宮下啓三氏(当協会副会長)

会場 ホテル法華クラブ藤沢 ロータスホール

■ 6 月 25 日(土) 会員懇話会

卓話 未定

講師 未定

会場 ホテル法華クラブ藤沢 ローズルーム

■ 7 月 30 日(土) 第 40 回例会・恒例の湘南の夏祭り

ドイツフェア

日時 平成 17 年 7 月 30 日(土)

会場 藤沢市民会館第一展示ホール

出演者 未定

■ 8 月 27 日(土) 会員懇話会

卓話 未定 講師 未定

会場 ホテル法華クラブ藤沢 ローズルーム

■ 9 月 24 日(土) 第 41 回例会

講演会 未定

講師 未定

会場 ホテル法華クラブ藤沢

湘南日独協会会報(Der Wind)

VOL. 7. NO. 2. 通巻38. 発行 2005. 2. 26.

湘南日独協会

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in Shonan

事務局：〒251-0055 藤沢市南藤沢 8-9 中丸ビル 2F

TEL0466-26-3028 / FAX0466-27-5091

湘南日独協会 会報

Der Wind

(風)

会長就任ご挨拶

湘南日独協会会長 織田正雄

本協会は創立以来、岩崎英二郎先生を会長にいただき、そして多数の優秀なメンバーの協力により、これまで全国55協会の中でも際立ったレベルの高い活動を続けてきました。この度、数段格の下がる会長が就任することにより、会が見劣りすることにならぬ様、頑張らねばと覚悟して居ります。たまたま今年三月から一年間は「日本におけるドイツ年」で日本国中でドイツを印象付ける 700 近い各種の催しが行なわれます。本協会もこれに因んだ催しが出来れば良いと考えています。

この度理事に若干の交代がありました。新体制では会員全員がこの協会に入って良かったと納得出来る様な活動を企画していきたく、皆様の御支援・御協力をお願い申し上げる次第です。

湘南日独協会 第 38 回例会

【講演会】旅のふれあい

日時 3 月 26 日(土) 午後 1 時 30 分～

講師 宮治せつ子氏 (JTB 東日本営業本部・室長)

会場 ホテル法華クラブ藤沢 2F ロータスホール

2月の懇話会から…

「ドイツ菓子を作る楽しさ」

去る2月26日の夕刻、小雪の舞う中、片瀬山にあるドイツ菓子の店「アウスリーベ」の店主・曾根愛（めぐみ）さんを迎えて、ドイツ菓子についてのホットなお話を伺いました。

マイスターMeister（親方・師匠）と聞くとこわそうで頑固そうなおじさんをイメージしてしまうのですが、曾根さんはごらんのように若くて可愛いお嬢さん、そして気さくにお話してくださる方です。小さい時からお母さんと一緒によくクッキーを焼いたりお菓子を作っていた曾根さんは、小学生だったとき、すでにマイスターになることをご自身の夢とされていたそうです。十代で単身ドイツに渡り、三年間の見習期間、その後最低四年間という職人としてのワザを磨くための期間を働き、それからマイスター試験（国家試験）を受けるための勉強をされたそうです。

渡欧七年後には試験に合格して、マイスター資格をとられました。ドイツ国内においてドイツ人すら就職難の折、外国人には労働ビザの問題もあり、色々ご苦労なさったようですが、だから嫌だったというお話は何もありませんでした。先生や親方の言葉が辞書を引いてものついていない南ドイツの方言で苦労したとか。ドイツの菓子やパンの職場は朝がとても早いことはよく知られていますが、それだけでも現場の厳しさが想像できます。目的に向かってやり通す情熱は菓子が好きという曾根さんの情熱そのものだと思います。

片瀬山の曾根さんのお店「アウスリーベ」に並んでいるケーキは飾りたてた豪華なものではありません。しかし、ぴしっと決まっていて、小気味よいお菓子でした。

2月の懇話会では曾根さん手作りのドイツケーキを賞味する事ができて出席者一同大感激！ 楽しさと美味しさで、あっという間の1時間半でした。



手作りのドイツ菓子を賞味して感激！

広報委員会が発足！

湘南日独協会も創立以来、いよいよ7年目を迎えました。これまで会報「Der Wind」は事務局で編集していましたが、今年度から会員参加による広報委員会で取材・編集を行うことになりましたのでどうぞご期待下さい。

広報委員のメンバーは次の通りです。

伊藤志津子（理事・広報委員長）

佐合千佳子（会員）

白石麻実（会員）

広報委員会は今月号から会報の紙面造りに取り組んでいます。ご意見やご要望、耳より情報などありましたらどしどしお寄せ下さい。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

新入会員紹介（3月10日現在）

ドイツより接收した伊号第507潜水艦の映画



見ましたか？話題の映画「ローレライ」

1945年8月、ドイツ降伏後日本海軍に収容された潜水艦「伊507」。海軍軍令部作戦課長の浅倉大佐は、この艦の艦長に、かつての名艦長で現在は閑職に回されていた絹見少佐（役所広司）を任命。原子爆弾を積んだ敵輸送艦を撃沈するミッションを与えた。

一方、回天特別攻撃隊（特攻）に所属していた19歳の折笠征人（妻夫木聡）も、その能力を買われ伊507の乗組員に選ばれるが、特攻を非合理的作戦として認めない絹見に反発する。

軍属技師として乗艦している高須によれば、伊507にはドイツ軍が開発した特殊兵器「ローレライ・システム」が搭載されているとのことだが、その全貌は高須にしか知らされていなかった。

アメリカ海軍の執拗な追跡と攻撃の中、艦内で叛乱が勃発する。時を同じくして、広島と長崎に原爆が投下される……そして3発目の原爆を積んだB-29が、既に南太平洋上のテニアン島で出撃準備をしていた。その出撃阻止のため、絹見艦長と折笠たちは、テニアン島に向けて艦を進める。

生き続けることに人々が絶望していた時代、生きる希望を求め、ローレライ・システムを搭載した伊507が自らを押し包む歴史に対して、今、戦いを始める。

ローレライ・システムとは何か？

浅倉大佐の狙う日本再生とは？

絹見に与えられたミッションの真の目的は？

かくして戦史には残っていない、日本海軍最後の戦いが始まった……。